



允中だより “明るく 強く 正しく”

学校通信

令和2年7月31日

倉敷市立長尾小学校

長かった1学期も今日で終わりを迎えました。

多くの行事が中止となる中、7月7日(火)・8日(水)には本年度はじめての学校公開・授業参観を急ぎよ行いましたが、三密を回避しながらの参観に皆様ご協力いただき、ありがとうございました。入学、進級後初となる授業参観でしたが、学級担任の指導の下、学校で頑張っているお子様の様子をご覧になり、少し安心された保護者の皆さんも多かったのではないのでしょうか。

6月からの通常登校が再開して以来、4回の土曜授業、そして、7月末日までの授業日の延長…と、大人でも思わず愚痴がこぼれそうな状況の中でしたが、子どもたちは暑さが厳しくなってからも額に汗をにじませながら毎日元気に登校し、ひたむきに頑張りました。最後の日まで落ち着いて学校生活を送った長尾小の児童は本当に辛抱強く、立派だなと感心しました。どうぞおうちでも、「一学期間、よく頑張ったね。お疲れ様…」とお子様にもねぎらいの言葉を掛けてあげてください。

明日からはいよいよ子どもたちが楽しみにしていた夏休みに入ります。ウィズコロナで、今年の夏休みは過ごし方にも一工夫が必要ですが、感染症対策をしっかりとりながら、ご家族の皆さんでゆっくりとした時間を過ごし、楽しい思い出をしっかりとつくりたいと思います。

一学期の教育活動に対し、温かいご理解とご協力を賜りましたことに、改めて心よりお礼申し上げます。

●本年度の児童会スローガン 決まる

「笑顔で元気なあいさつ にじ色のスーパー気ツズ」

※ みんなが笑顔であいさつを交わし合い、一人ひとりの個性と、**元気**、**本気**、やる**気**、根**気** etc.あふれる長尾小学校にしたい、という思いが込められています。

6月より運営委員会の子どもたちを中心に進めてきた児童会スローガンが決まり、先日のお昼の校内放送で発表がありました。

スローガンが決まるまでにはたくさんのプロセスがありました。始まりは校長へのインタビュー。6月のある日、運営委員の数名が校長室へやってきて「今度、児童会のスローガンを決めたいので、校長先生の『こんな長尾小になってほしい』という思いを聞かせほしい。」と取材依頼があり、それをビデオに収録しました。その後、各学級では、撮影されたビデオを視聴した後、自分たちの学校生活を見つめながら、学級ごとに目指す長尾小の姿を話し合い、スローガンに入りたい言葉やそれに込められた思いや願いを代表委員会で話し合いました。

898人の思いが込められたこのスローガンに魂を吹き込んでいくのは子どもたちです。2学期の子どもたちの活躍に大きな期待を寄せています。

【スローガン発表のテレビ放送を見る6年生】

【コロナ禍で知恵を絞る子どもたち】

7月29日（水）、体育館では5年生全員による学年会が開かれました。新型コロナウイルスが流行し例年の「学校音楽祭」が中止となる中、方法を考えることで何とか校内でできる音楽会を開きたいとの願いから、スタートしているこの取組。

この日は、「みんなに元気や勇気を届けよう」という議題の下、各学級で選んだ2曲を学級の代表がプレゼンし、学年として発表する曲を2曲に絞りこんでいくための話合いでした。

「親に感謝の気持ちを伝えられるから〇〇の曲がいいと思います。」「コロナに負けず頑張ろうという気持ちになれると思うので〇〇の曲がいいです。」と活発な意見交換が行われ、発表曲を絞り込んでいくための討議がしっかりと行われました。

【活発な討議を重ねる5年生】

6年生の修学旅行についても、先日、市内全小学校において例年の一泊二日の京都・奈良・大阪方面への修学旅行を中止することが決まりましたが、2学期には代替となる旅行について子どもたちの思いを大切にしながら、行き先や内容について子どもたちと共に考えていくことにしています。

例年どおりに行事が実施できないことはとても残念ではありますが、今のこの状況を、みんなで見守る知恵を絞り課題に立ち向かいながら主体的に生きる力を養うための貴重な機会と前向きに捉え、自分たちの思い出をみんなで作り上げていきたいと思っています。

【修学旅行】10月1日(木)・2日(金) 中止 ⇒ 10月19(月)

※県内もしくは中四国の近県を候補地として日帰りバス旅行を計画します。

【新型コロナウイルス感染症に関連する人権への配慮について】

このところ新型コロナウイルス感染者が全国的に急増しており、岡山県においても同様の傾向です。新型コロナウイルスがより身近になり不安を覚えている方も少なくないのではないのでしょうか。感染防止対策に努めながらも、倉敷市の学校園においていつ児童や教職員に感染者が出てもおかしくない状況にあり、日常生活を送る中で誰もが新型コロナウイルスに感染する可能性があります。

新型コロナウイルスには3つの顔があると言われています。

(日本赤十字社作成資料「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」参照)

“第1の感染症”は **病気そのもの**

“第2の感染症”は **不安と恐れ**

“第3の感染症”は **嫌悪・偏見・差別** です。

“第3の感染症”は見えない敵(ウイルス)への不安から、特定の対象が見える敵と見なして嫌悪の対象とし、偏見・差別によって、この感染に関わる人を遠ざけようとするものです。

これまでも感染者や医療従事者、その家族などへの重大な人権侵害の事例が報道されており、このことは、かつてのハンセン病問題や HIV 感染者への偏見・差別、福島第一原発事故により避難した児童生徒へのいじめなどの事例と根本は同じです。

もしかすると多くの方が最も恐れているのは、この“第3の感染症”かもしれません。感染症がより身近に迫っている今こそ“新型コロナウイルスの3つの顔”を理解し、感染した人やその家族、関連する業務に従事される方などの人権を守るためにも、私たち大人が子どもたちのよき手本になりたいものです。